

子どもの権利から見た

あるべき教員養成カリキュラム

改正とは

2026年
3月8日 (日) 13:00～17:00

日本が国際連合の「子どもの権利条約」を批准して30年以上たちました。2022年に制定された「こども基本法」にも子どもの権利が謳われています。しかし、現行の教員養成カリキュラムの中に、子どもの権利についての言及はありません。すべての教員が子どもの権利を正しく理解し、学校現場にてそれを体現するためにはどうすればよいのでしょうか。

本シンポジウムでは、現行規定の課題を論じた上で、教員養成における子どもの権利に関する教育実践を紹介し、教員養成カリキュラム改正のあるべき方向を考えます。教員、研究者、メディアなどたくさんの方のご参加をお待ちしております。

趣旨説明 阿部彩 (東京都立大学 ※1)

司会 西希代子 (慶應義塾大学 ※2)

第一部 (13:10～14:10)
教員養成カリキュラムにおける
「子どもの権利」教育

第二部 (14:25～15:20)
教員養成カリキュラムにおける
子どもの権利教育の実践

教員養成カリキュラムの現状と展望

勝野正章 (東京大学 ※1)

「子どもの権利」を学ぶ「『生きる』教育」

西岡加名恵 (京都大学 ※1)

予防的生徒指導と子どもの貧困

山野則子 (大阪公立大学 ※2)

教職入門における権利を学ぶグループワーク

宇野由紀子 (愛知大学)

特別活動論における意見表明・参加の権利への
アプローチ 大日方真史 (三重大学)

4年間を通した子どもの権利学習の試み

安部芳絵 (工学院大学 ※3)

ラウンド・テーブル・ディスカッション (15:20～16:30)

申込はこちら ▼

締切：3月7日(土)

ZOOM申込 ▶



https://us06web.zoom.us/join/register/S1_okHRURRyHwUp_uK7Gf3A#/registration

対面申込 ▶



<https://forms.gle/wscwzpm1bydtZF2h9>

会場

全国教育文化会館エデュカス東京 大会議室
(東京都千代田区二番町12-1)

※オンライン参加の方は必ず期限までにお申込みください。
※会場参加の方は当日参加も可能です。
※Webサイトからも申込可能です。

※1：日本学術会議第一部会員、※2：日本学術会議連携会員、※3：日本学術会議連携会員 (特任)

主催：日本学術会議社会科学委員会・哲学委員会・心理学・教育学委員会・法学委員会・経済学委員会合同子どもの権利保障分科会

共催：文部科学省科学研究費 学術変革領域 (A)「貧困学の確立」(JSPS科研費22H05097 研究代表者：阿部彩)

問い合わせ：事務局 (東京都立大学子ども・若者貧困研究センター 阿部)

Webサイト：<https://poverty-research.jp/260308/>

abeken@tmu.ac.jp (042-677-2126)